

2025 年度 言語処理学会フェロー候補者 推薦書

記入日 2025 年 月 日

言語処理学会 フェロー選定委員会委員長 殿

推薦者氏名 (※自署)	
会員番号	
所属	
役職	
電子メール	

言語処理学会フェロー候補者として以下の者を推薦します。

1. フェロー候補者 (NAME の記載例) 言語 花子の場合、Hanako GENGO

氏 名	
NAME	
所属・役職	
電子メール	

2. 対象となる顕著な功績のまとめ (30 字程度で具体的に)

(例) 「～の発見」「～の普及」「～の開発」「～の実用化」「～の創設」など

--

3. 対象となる顕著な功績のカテゴリ (主たる功績のカテゴリを 1 つ選択し、◎をご記入ください。従たる功績のカテゴリがあれば 1 つ選択し、○をご記入ください。)

学術研究	
人材育成	
産業振興	
学会運営	

4. 対象となる顕著な功績に関わる業績のうち代表的なもの3件

※ 書籍、論文、特許、教材、講演、データセット、ソフトウェア、製品、報道など
主または従のカテゴリに関わる公表済みの業績を列挙して下さい。

(例) 自然太郎, 言語花子: ○○の提案, 自然言語処理, Vol.1, No.1, pp.1-15 (1994).

業績 1	
業績 2	
業績 3	

5. 対象となる顕著な功績の詳細 (500 字程度)

※ 上記3で選択した主または従のカテゴリを中心に、候補者の顕著な功績の詳細を、上記4で挙げた3つの業績を ～を開発している [業績1] のような形式で参照しつつ、その他の功績を含め 500 字程度で記載して下さい。

--

6. 最終学歴・学位 (例) ○○大学大学院○○研究科○○専攻修了・修士(理学)

--

7. 職歴 ※最大 3 件 (例) ○○～○○年 ○○大学○○学部○○学科 教授

1.
2.
3.

8. 本会での活動歴 ※最大 3 件 (例) ○○年 言語処理学会第○回年次大会○○委員長

1.
2.
3.

9. 本会を除く学協会・国際会議等での活動歴 ※最大 3 件

(例) ○○～○○年 ○○学会理事

1.
2.
3.

以上

◆記入上の注意◆

- (ア) 空欄に 11pt でご記入ください(推薦者氏名の自署を除く)。
- (イ) 推薦書テンプレートの様式(記載されたテキストや枠の大きさなど)を変更せずにご記入ください。青色のサンプルテキストもそのまま残してください。
- (ウ) 上記2の「まとめ」は、フェロー認定書の「あなたは○○○においてきわめて顕著な功績をあげられました」の○○○に挿入したときに自然となる程度の具体性でご記入ください。
- (エ) 上記6～9は各事項を1行でご記入ください(正式名称が長い場合も1行となるように適宜略して下さい)。